

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標
<p>「施設一体型義務教育学校における創造的な教育活動の実践・充実」 ～「きめ細かな学び」と「豊かな成長」目指して～</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設一体型義務教育学校としての教育課程の編成と教職員の連携・協働による教育実践を行います。 地域や国際交流、外国語活動・英語教育の推進、SDGs（持続可能な開発目標）等特色ある教育活動に取り組みます。 児童生徒の自己肯定感を高め、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して児童生徒の言語活動の充実に努めます。 異年齢集団での教育活動全般を生かした思いやりの心の醸成、健やかでたくましい体の育成を図ります。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	①学校の教育活動全体を通して行う道徳教育と、各学級の道徳の時間との連携推進を図り、児童生徒の自己肯定感を高める。 ②ユニセフの取組やSDGsと関連した教育活動を積極的に展開していく。 ③9年間の特別活動に充実と異学年交流の実施を図っていく。
担当	道徳部

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

本校は特認校であり、約3割の児童生徒が学区外から通学している。保護者の教育に対する関心や意識が高く、また地域からも協力を得られる環境にあり、穏やかで素直な児童生徒が多い。規範意識は高いが、自尊感情がやや低く、新しいことに挑戦することに慎重で、意志や気持ちを言葉で伝える等、コミュニケーションを図ることに苦手意識をもっていたり、応用的な発想に苦手意識があったりする児童生徒も少なくない状況がある。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育（必須項目）

「道徳の時間」の充実

- 学校の教育活動全体を通して行う道徳教育と、各学級の道徳の時間との連携を図り、様々な体験を通して道徳的考え、見方、感じ方を育てます。
- 道徳の時間の取組について学校からのお便り等を通して家庭や地域に発信し、共に連携して児童生徒を理解し、家庭や地域の指導力も生かしていきます。

「確かな人権感覚・意識の育成」

- ユニセフの取組についての学習を全学年で展開し、募金活動を児童生徒が主体となって実施します。

【項目 体験活動の充実】総合的な学習の時間を軸としたキャリア教育、国際理解教育

- 金沢動物園をはじめとする地域施設等との連携を図り、児童生徒の発達段階に応じた体験活動を通して、充実したキャリア教育を推進します。
- SDGsと関連した学習を取り入れ、国際社会の現状を知り、「多文化共生」への理解、「国際平和や環境への貢献」について考える姿勢を育てます。